

地域のくらし共創デザイン研究所



所長 伊藤 美由紀 (ライフデザイン学部 生活デザイン学科 准教授)

少子高齢化や人口減少、価値観や生活様式の多様化などにより、人や地域(密住地も疎住地も)は健やかで元気あるくらしに危機感を感じ、課題を抱えている。

本研究所は、子どもの健やかな成長、高齢者の生きがいのある生活、障害のある人の自律した生活などを地域や社会全体で連携し支援することを目指し、これまで実践してきた団体や地域等と共に、学生参画型による自律的で持続的なくらしやコミュニティを創りだす実践的活動と研究を行う。

研究キーワード

- 地域社会 ●共創 ●デザイン ●福祉 ●健康 ●まちづくり ●コミュニティ ●防災減災
- 交通移動 ●資源活用 ●世代間交流 ●地域内外交流 ●生きがい ●自律 ●生産
- モノづくり ●ヒトづくり ●コトづくり ●場づくり

研究内容

- 本学工業意匠学科時代の秋岡芳夫チーム(第三生産技術研究室)による地域デザインの継承
- 地域デザインに主眼をおいた学生参画型の実践的教育・研究(仙台市太白区八木山地域、仙台市太白区秋保野尻地区、岩手県西和賀町北部地区など)
- 被災地支援活動と調査(石巻市雄勝町、登米市津山町、熊本県など)
- 人材育成と社会貢献を目的とした地域安全安心センター(安全安心生活デザイン学科組込; 2008年設立)の運営



仙台市八木山地域にて地域包括ケアを目指した「八木山ハープまちづくり活動」



岩手県西和賀町北部にて自律したまちづくりに向けてのワークショップ開催

共に新たな価値を創り自律したくらしを！

